

初心に立ち返る

ちん リフお
陳 立翎

「難波津に咲くやこの花冬ゴモリ今は春ハ
と咲くやこの花。この和歌を耳にしたのは私
が初めて見た日本映画「ちはやふる」の中で
した。「ちはやふる」は、百人一首を題材に
した青春映画で、競技かるたに打ち込む高校
生たちの成長が描かれています。試合の始ま
りに何度も読まれるこの和歌を聞くたび、私
の心も高鳴り、まるで自分がそこにいるよう
な気持ちになりました。

八年前、小学六年生だ、た私は日本語がま
たく分かりませんでした。この映画はそ
んな私の心にも強く響き、深く印象に残りま
した。特に忘れられないのは、千早が紅葉の
ような和服をまとい、凛とした表情で決定戦
に登場したシーンです。その姿に私は強く心
を奪われました。数年後、再び「ちはやふる」
を見ました。その頃には日本語が少しわかる

ようにな、ていて、以前感じたような画面からの直接的な衝撃は少なくな、ていました。

代おりに「人はいさ心も知らずふるさととは花が昔の香ににほひける。」という和歌に心を打たれました。

映画の中では、この歌にフッて「気持ちがいんなに移り変あ、ても、ふるさとの花はフでも自分を待、てくれる。」という意味だと説明されていきました。また、かるたが得意なおじさんは「困ったときにはいっつでも帰れる『心のふるさと』があるんや」と主人公達に語りかけ、さらに「かるたに行き詰まったときは、イメージや。あんたがかるたをしていって一番楽しかったのはいつや、た。」と問いかけていきました。この言葉は、試合中「できな、できな。」と勝ち負けばかりが気にな、ている千早に、友達と三人でかるたをしてい出した思、出をよみがえらせ、そして千早は再び強さを取り戻し、笑顔で試合に臨むことができたのです。映画中の「心のふるさと」は彼

らの初心や三人一緒にやるたをやった楽しさ、
仲間とのつながり、誰かの存在のことであり
それがあるからこそやるたに特別な意味があ
るのだと思います。そんな言葉に触れたとき
私はふと立ち止まり、「日本語を学ぶ中で、
私を支えてくれたものは何だ、たのただろう」
と考えました。

そう考えたとき、私は自然と自分が日本語
を学び始めた頃のことを思い出しました。初
めて思い切って日本語を勉強しようと思った
のは大学一年生のときでした。それから毎日
できるだけ時間を作って大学の図書館で日本
語を勉強しました。最初は五十音から始めま
したか、「ツ・シ・ソ・ソ」の四つの区別さ
えつかないほどまったくできませんでした。
発音を練習するためシャドーイングをしたか
ったのですが、寮で声を出さずのは取っかしか
ったので毎晩図書館の外にある木の陰にこ
そり隠れて練習してました。雨の日は傘を
さして、通行人がうるときは背を向けて声を

ひそめていました。今でもその時のことを覚えて
います。あのときの私は大変だったけれど、
本当に楽しい気持ちで日本語を学んで
ました。気がつけば、いつの間にか日本語を
勉強するとき「楽しい」よりも「できな
い」「悪い」といった気持ちのほうが強くなっ
てました。日本に来て以来少しずつ言葉がわ
かるようになってきたはずなのに自分の語彙
の少なさや文法の間違いや発音の不自然さに
ばかり目が向いてしま、「どうしてできな
いんだろう」「やっぱり自分には無理なんじ
やないか」と自信をなくすこともありました。
そして、日本人の前では緊張して思うように
話せず、「勉強不足だ」と分かっていても落
ち込んでしまいう日々が続きました。そんな日
々が続くと次第に「日本語を勉強するのが好
きだった」という気持ちさえ見失ってしま
うようになるのです。

そんな時、ふと千早の姿が頭に浮かびまし
た。私もまた初めて日本語を楽しいと思えた

瞬間を思い出すことで少しずつ前を向けるよ
うになりました。完璧じゃなくてもうまく言
えなくてもあの頃のように「やってみたら」
「学びたら」という気持ちは何より大切な
だと気づいたので。子どもの頃の私は、日
本語がまったくわからなくても、画面に映る
登場人物の情熱やきらめきに心を奪われ、た
だ「かっこいい」と憧れていました。これは
まるで言葉を超えて心に届いた初めての「日
本語の出会い」でした。一方で、今の私は日
本語を学び、日本に住む中で彼らの言葉や葛
藤や喜びや迷いがより深く理解できるよう
になりました。今なら、その映画が伝えていた
「初心に戻ることの大切さ」が分かる気がし
ます。

私は「ちはやふる」という同じ作品を通し
て、変なくらい自分を実感できました。こ
れまで学んできた時間や、迷いながらも続け
てきた自分を肯定してくれる何よりの証がも
しれません。「ちはやふる」はこれからも時

々立ち止まりたくなるとき、ふと初心を思
い出させてくれるような作品として私の中に
残り続ける気がします。